

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイディリティ試聴会報告(2018.4.21)

ソナスファベール「Amati Tradition」の試聴会に行ってきました。

日時：4月21日(土) PM1:15~PM3:00

会場：3F ハイファイディリティ試聴室

<使用機材>



ソナスファベール スピーカーシステム Amati Tradition ¥3,888,000 (ペア)



ブルメスター プリアンプ 088 ¥3,078,000



ブルメスター パワーアンプ 911MK3 ¥3,564,000



ブルメスター CDプレイヤー 061 ¥1,782,000



ドクトルファイキャルト ベルトドライブプレーヤー BLACKBIRD-2  
¥1,015,200



クラウディオ ピポッド式リニアトラッキングアーム ARM-MP12 ¥1,350,000



当日のセッティング

#### <試聴の経過>

試聴の間に Amati Tradition と ARM-MP12 の説明がありましたが、下記の紹介記事を参照していただくことといたします。

Amati Tradition 紹介記事

<https://av.watch.impress.co.jp/docs/news/1055580.html>

ARM-MP12 紹介記事

<https://www.phileweb.com/news/audio/201702/08/18333.html>

アナログの試聴は Acoustical System の aiwon のカートリッジとプリアンプ内蔵のフォノイコライザーを使って行われました。プリアンプは購入の際に、MC モジュール、MM モジュール、DAC モジュールおよびアナ

ログ入力モジュールを指定できるそうで、今回は MC モジュールがセットされているものが準備されていました。CD プレイヤーは CD 専用機で SACD には対応していません。試聴はアナログ盤と CD が交互に行われましたが、CD の場合、通例アナログとの差が大きいのですが、違和感なく聴くことができ、この CD プレイヤーは非常にハイレベルのものであるという印象を持ちました。

最初に、女性ボーカルとピアノのアナログからスタートしましたが、いずれも美音系で、女性ボーカルの声の質感が良く出ていました。

次に CD のジャズがかかりましたが、ベースの低域も適度に膨らみ、楽器の音や声の質感も良く出ていました。傾向としては JBL などと違った方向の音でしたが、説得力はありました。

休憩時間の間、女性ボーカルの CD がかかり、再開後に女性ボーカルと合唱の CD がかかり、合唱のスケール感やバックの低音もよく伸びていました。

次に諏訪内晶子の Rond Capricioso がかかりましたが、諏訪内晶子のストラディヴァリウスは何回か聴いていますが、少し甘めになってガット弦のような音になっていました。

アナログのジャズを挟んで、サイトウキネンの幻想の CD に進みましたが、ジャズは品の良い音で、幻想もバランスも質感は良いものの、フルオーケストラにしては、少し迫力が不足する印象です。幻想の再生は終楽章でしたが、打楽器の音量が上がるころでも、トラッキングの破綻は感じられませんでした。

この後、ギターとベースのデュオとタンホイザーの巡礼の合唱のパートの CD がかかりましたが、ギターとベースは切れ味というよりは質感を聴かせる方で、タンホイザーの合唱の音場感や声の質感はこれまでと同様、心地良く聴けるものでした。

#### <まとめ>

ソナスファベール「Amati Tradition」の音は、美音系で音楽ジャンルと合えば非常に轟感的な音を聴かせてくれますが、場合によっては音を作りすぎて、生の音とずれてくる場合もあるように感じました。

アナログと比べて珍しいくらい違和感のない CD プレイヤーに良い印象を持ちました。

以上